



【地震後、津波が起こったら】

どろ みず ちゆう い  
泥や水たまりに注意する

- ▶ 泥や水たまりは、棒で深さを調べてから歩く
- ▶ ポリ袋で足が汚れないようにする



Save the Children  
JAPAN



+arts  
NPO法人プラス・アーツ

## 泥や水たまりに注意する

### ■ 状況シートの説明



#### ▶ 場面ごとの説明

- ① 小学校に避難していたみなとくんは、買い物を頼まれ、近くのスーパーへ行きました。町では、津波が引いた後もあちこちに水たまりができていました。帰り道に、友だちのしんたろうくんに会いました。「何してるの?」。しんたろうくんは、長い棒を水たまりに突っ込んでいます。「ここが歩けるかどうか、調べてるんだ」と言いました。
- ② みなとくんは、しんたろうくんのすぐそばに、ある物を発見しました。「あっ、マンホールのフタが落ちてる」。「そう、だからこうして棒で調べるんだ」としんたろうくんは言って、泥や水で隠れた深い場所を棒で確かめる方法を教えてくれました。
- ③ こうして深みにはまらないように注意しながら、みなとくんとしんたろうくんは歩きました。「やっと着いたね」としんたろうくん。無事避難所に帰って来たところ、みなとくんは足元を見てびっくりしてしまいました。「あっ!」「〇〇〇〇〇」

#### ▶ セリフの例 (気持ち)

「わっ、くつがどろどろだ」「ああ、足が気持ち悪い」  
「くつが汚れちゃった」

#### ▶ 発問例

- ・津波の後、道はどうなりますか?
- ・外を歩く時、何に気をつけないといけないですか?
- ・外を歩く時に便利なものは何ですか?
- ・身近なものを使ってくつの汚れを防ぐ方法はありますか?

### ■ 教訓シートの説明



#### ▶ 泥や水たまりは、棒で深さを調べてから歩く

- ・津波が引いた後も、低い土地には水たまりができたり、沼のようなドロドロの状態になります。
- ・マンホールのフタが水に流され、深い穴に泥がたまり、どこに穴があるかわからなくなってしまいます。
- ・泥や水が残っている場所では、棒で深さを調べながら歩きましょう。

#### ▶ ポリ袋で足が汚れないようにする

- ・ポリ袋はとても便利で、いろいろな用途に使えます。
- ・ポリ袋をくつ下の上から足にかぶせて、ひざのあたりをテープでとめ、その上からくつをはきます。こうすると、くつ下や足が汚れません。

### ■ 東日本大震災の教訓

津波の後、周囲は「まわりが沼のような状態」「道路から自宅の中まで10センチから20センチのヘドロ」になったそうです。そのため、「棒を持って出かけた」という人が多くいました。棒は水たまりを飛び越えたり、棒に荷物を結び付けて天秤のようにして荷物を運ぶことにも使えました。また、地震や津波の後には、いろいろな物が道に落ちています。釘やガラスの破片を踏んでしまい、足をけがした人がいます。気をつけて歩きましょう。